

第12回桐原学区 平和祈念式典

日時 令和6年2月17日(土) 10:00~

場所 桐原っ子ホール

- 千羽鶴贈呈式 (桐原保育所)
- 平和の願いを込めて (作品発表)
(八幡西中学校・桐原小学校・桐原東小学校)
- 学区平和宣言
- 平服でご参加下さい。
- 上履きをご持参下さい。【桐原学区社会福祉協議会】



滋賀県地球温暖化防止活動推進員を募集しています!

委嘱期間：令和6年4月1日から2年間
募集人数：100名程度/締切：2月19日

※応募資格、応募方法等、詳細は
回覧チラシをご確認下さい。

お問合せ：滋賀県総合企画部CO2ネットゼロ課 ☎077-528-3490



移動図書館 LIBRARY

2月2日(金)
10:30~11:00

桐原コミセン駐車場にきます！
ぜひご利用ください！【近江八幡図書館32-4090】

令和6年能登半島地震 災害義援金

桐原コミセン窓口に募金箱を設置しました。赤い羽根共同募金会を通じて被災地に送られます。ご協力をお願いいたします。【近江八幡市社会福祉協議会】

2月の親子プレイステーション

火曜日の10時から11時30分頃まで開催します！
就学前の子どもと保護者が対象です。遊びにきてね！

- 6日(火) リズム遊び ※動きやすい服装で来てね!
- 20日(火) 自由あそび
- 27日(火) おひなさまづくり

金よう茶屋

2月9日開催! ※

★11:30~開催予定!!

※23日は祝日のため開催いたしません。

寄付

滋賀県副生物協同組合様より 近江ホルモン3kg、大森町在住の方より10,000円、堀上町在住の方よりお米のご寄付をいただきました。
ご寄付いただき誠にありがとうございます。【きりっ子食堂運営委員会】

桐原まち協だより

発行：桐原学区協働まちづくり協議会 総務広報部会
2024 2月号 TEL 33-3535 FAX 33-3569



祝 3連覇 近江八幡駅伝競走大会 学区対抗の部 桐原チーム 優勝!!



1月14日に『第70回記念近江八幡駅伝競走大会』が開催されました。桐原チームは学区対抗の部に出場し、見事3大会連続で優勝しました。桐原チームの皆さんは、2月11日に開催される『第74回富士宮駅伝競走大会』に出場される予定です。応援よろしくをお願いします。



第32回福祉のつどい
八幡西中学校生徒会
元気いっぱいのソーラン踊りでオープニングを飾っていただきました。

桐原学区 福祉のつどい

令和5年12月17日、桐原っ子ホールにて『第32回桐原学区福祉のつどい』を開催いたしました。4年ぶりの開催となる今回は午前中のみで開催でしたが、八幡西中学校生徒会のソーラン踊り、『レクボラじゃんけん・ポン』の上田さんによるレクリエーション、『ひょっこりひょうたん島』の皆さんの出し物と、盛り沢山の内容で開催しました。また、初めての試みとして、桐原小学校・桐原東小学校・八幡西中学校の子ども達にボランティアとして参加していただき、来場者の皆さんとの交流もあり、温かい雰囲気のイベントとなりました。【桐原学区社会福祉協議会】



靴袋を渡したり、レクリエーションのお手伝いをしたり...子どもボランティアが様々な場面で活躍しました。

レクボラじゃんけん・ポン 上田きみさん

フレイル予防に繋がる手の体操・頭の体操、新聞紙を使ったレクリエーションの実施と、パワフルなトークで盛り上げて下さいました。



百歳を祝いしご家族に賞状と記念品をお渡ししました。

長寿奨励賞表彰

ひょっこりひょうたん島



可愛い小人さんが登場をお散歩しました。



浮いている様に見える不思議なダンス!

最後は元気いっぱいのチアダンス、パワーをもらいました☆

- 桐原コミュニティセンター 2月の休館日
4日(月) 5日(月) 11日(日) 12月(日) 13日(火) 18日(日) 19日(月) 23日(金祝) 25日(日) 26日(月)
- 夜間開放会議 2月22日(木)★4金曜日*祝日のため、第4木曜日に開催します。
19:00から桐原コミュニティセンターで30分の体育施設利用調整をします。
- 桐原コミュニティセンターおよび桐原社会体育施設
3月分の施設利用申込みは、2月1日(木)9:00から受付を行います。

心配ごと(困りごと)相談窓口

★3月27日(水)

時間 9:00~12:00
場所 桐原コミュニティセンター 民生委員児童委員協議会

社会福祉協議会・健康福祉部会合同視察研修



令和5年11月28日(火)に大阪市西成区役所庁舎8階に在る西成区社会福祉協議会(以下、西成社協と称する)を28名のメンバーが訪れました。西成区の概況は面積が7.37平方キロメートルと桐原より少し小さく、そこには近江八幡市の人口を優に超える106,111人の方が暮らしています。桐原学区民の約6倍近い人数となります。その中でも65歳〜85歳以上の人口が半分以上占めていて、桐原と比較しても高齢化率の高さがうかがえます。

近江八幡市内には10の「学区社協」がありますが、西成区内には16の「地区社協」が存在します。SDGsの理念のひとつに“誰一人取り残さない”という目標が掲げられていますが、それを主軸に、全ての住民が地域で自分らしくいきいきと暮らせるように地域福祉を推進する活動を行っていくのが社協の役割です。その中には給食サービス(高齢者向け)・ふれあいサロン・世代間交流・見守り支援・こども食堂等々、さまざまな活動がありますが、どれもこれもボランティアさんの協力がなければ、成り立つものではありません。今回はそのあたりの人材の育成について勉強をさせていただいたのですが、人口の違いもあり、申請者には何らかのメリットも必要であるという観点から有償ボランティアさんを推奨する割合も多く、桐原とは比較対象にはなりませんでした。

しかしながら、組織全体を考えたとき構成される団体はほぼ同じで、桐原学区においても民生委員や各種団体、そして何より市社協との連携を密にし、福祉活動の協議の場を構築していかなければならないという思いに駆られました。



人権推進部会視察研修

令和5年12月8日に守山市の児童養護施設「守山学園」を12名のメンバーが訪れました。

6月に行われた“住みよいまちづくり推進講座”で施設職員さんに施設の概要や子ども達の生活の様子などを講演いただいたので、とても身近な感じで訪問することが出来ました。建物は新しく木材をふんだんに使ってぬくもりがあり、天井が高く開放的で、さらにバリアフリーで癒やされる印象を受けました。そればかりではなく、児童養護施設の持つ機能や蓄積が生かされた幅広い活動を始めていることに驚きと感動を覚えました。施設内見学では、子どもたちが生活をしている実際の部屋や生活空間などを拝見させていただき、ハード面の充実は勿論のこと、ソフト面においても、職員さんたちのきめ細かい配慮が行き届いていて感心いたしました。

施設がいくら充実しても、措置されてくる子どもたちが背負われている現実のしんどさが軽くなることは別問題であり、施設と職員の力量がさらに重要になってきているとも感じました。学園長の話の中で「虐待通報が21万件、そのうち2%しか養護することができない、残りの98% (通告されていない多くの子どもと家庭も含む) に対してどのよ



うに関わりを広げていけるのかが大切である」ということを聞いて、その辺りを少しでもケア出来る地域づくりまちづくりの構築こそが、まち協を掌る各種団体の出番ではないのか、その中で人権推進部会の持つ役割は大変に大きいものではないかと思われま。最後に、滋賀県にはこのような施設があまりにも少なすぎます。施設が多ければ良いという問題ではありませんが、子ども達が友達以外で相談のできる地域連携室や相談支援事業所などがもっと増えていくことを望んで止みません。



心豊かでたくましく
夢に向かって共に伸びる桐原っ子

桐原小学校だより



あいさつ運動 ありがとうございます!

3学期が始まった1月9日(火)・10日(水)に、地域の方々やPTA役員の皆さんが、朝のあいさつ運動に、朝早くからきてくださいました。1月の生活目標を「相手より先にあいさつをしよう」とし、気持ちのよいあいさつが自分からできるよう指導しています。あいさついっぱい桐原学区となりますよう、ご家庭や地域でもよろしくお願ひします。

福祉のつといにボランティアで参加!

12月17日(日)に行われた桐原学区福祉のつといで、子どもボランティアが募集され、本校からは6名の児童が応募しました。当日、来場者への入り口での声掛けや座席への案内を、少し緊張しながら、がんばりました。レクリエーションでは、来場者と一緒に参加したり、講師の方のお手伝いをしたりしました。地域行事への参加を通して、地域のために主体的に行動する力を育む機会となりました。



桐原東小学校だより 学校教育目標:手をつなぎ 心ゆたかで たくましい子



2024年が幕をあげました。3学期がスタートし、久しぶりに子どもたちの元気な笑顔が帰ってきました。「あけましておめでとうございます。」とあいさつをする子や「先生、冬休みは何をしていたのですか?」と歩み寄ってくる子など、うれしい姿があちらこちらで見受けられました。

1時間目は、始業式です。まず、校長先生から1月1日に起こった石川県の震災についてのお話があり、被害に遭われた方に全校みんなで黙とうを捧げました。

6年生は、一学期から防災の学習をしており、その時、救急援助隊の方がおっしゃっていた「災害は必ず来る。」という言葉が、今回ほど痛感させられたことはないと思いました。また、「命を大切に。」ということも、改めて考えさせられる始業式でした。

避難所生活等で大変な思いをされている方々や、3学期の始業式が迎えられなかった学校もあります。みんなで3学期がスタートできたことは、決して当たり前ではないということを心にとめ、感謝の気持ちを忘れず、学年度末に向けて取り組んでいきたいと思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



きいはら遊こども園だより

令和6年が始まり、あっという間に1か月が経ちました。年末年始はお家の方と有意義に過ごした子どもたち。「あけましておめでとうございます」の年始のあいさつと共に元気な姿を見せてくれました。

1月は桐原学区民生委員さんによる人形劇。2月には節分の会があり、子どもたちもワクワドキドキ!!子どもたちのキラキラした表情を見る度に嬉しく思ひます。行事だけでなく、雪が降った日には園庭に出る雪遊び。寒い中でも活発に遊び、全身で雪の感触を楽しむ子どもたちでした。今年度も気付けば、あと2か月となりました。進級・進学に向け、異年齢交流や普段とは違うクラスのお友だちと遊んだりもしています。子どもたちと残りの2か月を有意義に過ごしていきたいと思ひます。

